

「いずみの散歩道Ⅷ」

中小企業総合力アップ支援事業／第49回テクノステージ和泉ビジネス連携サロン

大阪大学基礎工学部OBを中心に大学教授、企業の研究者等のネットワークを生かし、最新の科学、化学、生物学、新技術等の話を文系人にもわかりやすく講演する「いずみの散歩道」。研究者への質疑や交流を通じ、新規事業等へ取り組むヒントを得るチャンスです。

日時	平成29年2月16日(木) 15:30~18:30 (交流会含む) ※受付15:00~
場所	和泉市テクノステージ3-1-10 和泉商工会議所(和泉市産業振興プラザ北館) 3階交流スペース
参加費	1,500円交流会経費のため(定員先着30名)

15:30~

講演1 講師 中村 恭之

医学での電子材料応用

講演者が医学用途の電子材料について50年間開発を進めた結果医療機器に応用された実用例をご紹介します。現在国が医工連携(医者と工学者の共同開発)を推進しており大阪府ではその拠点としての活動が始まっています。今後の医学に利用される電子材料応用の提案をします。

大阪大学基礎工学部修士課程修了 住友特殊金属(株)定年後(有)フロンティアマテリアル創設
日本電子材料技術協会理事 大阪大学生産技術振興協会ナノ技術応用分科会座長
医工連携コーディネータ協議会コーディネータ

16:10~

講演2 講師 船岡 正光

樹木とは~次世代におけるその新しい役割

樹木はその生育環境に最適化されており、形状、内部構造、分子組成は全て異なります。多様性とその平衡から成り立つ生態系を資源として位置付けるためには、生物素材の段階的構造収束と特徴付け(機能開発)が必須です。リグニンとセルロースの構造的特徴を分子セグメントという新たな切り口で捉え、構造的な特徴付け(分子規格化)を行いながら両素材を逐次解きほぐす新たなシステム技術、森林からはじまる新しい持続的社会的システムについて紹介します。

三重大学 名誉教授 三重大学地域イノベーション推進機構 特任教授 農学博士
三重大学大学院農学研究科修了後、東京大学農学博士、アメリカの大学やドイツの研究所での客員教授を務めた。1996年 IOT 賞(合成樹脂工業協会)を始め、受賞多数。
専門：リグノセルロース変換工学、リグニン化学、資源環境化学
著書：Methods in Lignin Chemistry (Springer-Verlag)など多数

いずみの散歩道Ⅷ(中小企業総合力アップ支援事業/テクノステージ和泉ビジネス連携サロン)

送り先 Fax: 0725-58-7143 メール: nakatsuka@izumicci.jp

・会社名

・役職

・氏名

・連絡先 電話

FAX

メール

※ 上記参加申込書に記載された内容につきましては、本講義の参加者の集計及び参加者へのご連絡のためだけに使用させていただきます。